令和５年度第２回　瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会

通常事業事前審査　議事録

日　　時：令和５年７月１２日（水）　午後５時４５分から午後８時５５分
場　　所：瑞浪市役所本庁舎　２階大会議室
出席委員：山内　正雄（委員長）、辻本　紀み子（副委員長）、平中　学、柴田　洋子、
谷本　陽子、大宮　康一
※委員６名中６名の出席であり、委員の過半数の出席となり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会規則第６条第２項の規定により、本会議は成立。
事 務 局：瑞　浪　市　長　水　野　光　二
まちづくり推進部長　小木曽　昌　弘
事務局職員：市民協働課長　加　藤　博　史
まちづくり支援係長　正　木　麻　子
まちづくり支援係　中　筬　高　弘
次　　第：１．市長あいさつ
２．委員長あいさつ
３．審査会の進行等について
４．活動報告
・令和４年度夢づくり地域交付金事業（通常事業）
※各地区より報告
５．閉会

【１　市長あいさつ】

皆さんこんばんは。本日は、令和５年度の第２回夢づくり地域交付金等事業審査会ということでよろしくお願い申し上げます。今回の審査は昨年度の通常事業に対しての評価になります。

昨年度もコロナ禍が続いておりましたので、各地域思う存分企画した事業が出来ない中で工夫を凝らしながら進めていただいたことを汲み取っていただきまして、ご評価していただければと思います。

それと合わせまして、来年から「第７次総合計画」が市本体でスタートしますけれど、各地域におかれましても、地域計画を今まとめていただいて、準備にはいっております。各地域の色々な課題を明確化するためにも今後 10 年、20 年先の地域の計画を立てて、それを一つの柱としてそれを実現するためのいろんな事業が考えられれば一つの道しるべになるじゃないかと思いますし、また、その地域計画を策定する段階でいろんな方に参加していただいておりますので、その中から次の人材を発掘してもらう機会にもなると思います。今年度中に取りまとめていただいて来年「第７次総合計画」がスタートするタイミングで一緒に地域計画をスタートしていきたいな、と思います。

そんなところをお汲み取りいただきながらアドバイスをいただければと思います。

【２　委員長あいさつ】

市長さんからもお話がありましたように、コロナが５類に移行する前の事業実施ということで、各地区からいただいた資料・報告書等を、また、今日お聞きする報告等を踏まえながら審査をしていただければと思います。委員の方々も質問や、適切なアドバイス等を積極的に出していただいて、この審査を進めて行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

【３　審査会の進め方、申請状況等について】

≪審査会の進め方について事務局より説明≫

～質疑なし～

【４　審査】

≪①各地区からの事業説明≫

～省略～

≪②質疑・意見交換≫

瑞浪地区まちづくり推進協議会（以下「瑞浪」）

〇委員　潤いのあるまちづくり事業

絵手紙を通して見守り活動をしている、という地域があるようですが可能であれば瑞浪地区でも地域の社会福祉委員さん、民生委員さんが協力して独居老人の見守り・激励ができるのではと思いました。

絵手紙に関してはあまり予算を使っていないようですので、余った分をそのような活動に充ててもらえると地域の模範になるのではと思いました。

●瑞浪

ありがとうございます。

〇委員　潤いのあるまちづくり事業

ニホンミツバチの件ですが、どのようなご様子とどのような可能性を感じてらっしゃるか聞かせ下さい。

●瑞浪

お聞きいただきありがとうございます。ずっと失敗続きでしたが、やっと一つですが分蜂しました。今まではなぜ上手くいかないのかということがありましたが、詳しい方にお聞きしたりして、嬢王蜂を分けていただいてやっと一つできたところで、なんとか少しですが進みました。

〇委員　安全・安心なまちづくり事業

支出の部のウォーキングなんかのノベルティ購入とはどのような物でしょうか？

●瑞浪

参加賞ですね。昔は名入れのスポーツタオルを配っていました。最近は洗剤とか、ウォーキングとは関係のないものを配るようにしたところ、お土産に持って帰ったら非常に評判が良かったので、地味ですけれど、そういった物を参加賞でお配りしています。

＜市長コメント＞

ご苦労様でした。私も色々ご招待いただき、参加させていただきました。

お話の中にもありましたが、継続は力なりということで、瑞浪地区というと、役員さんが多く、参加者が少ないという時期もありましたが、地域の方々がまちづくりの取り組みに対して認知が進んで積極的に参加するようになったので大変素晴らしいと思います。もう一つはまちづくりだけでやるのではなく、子供会とか地元の企業さんをうまく巻き込んで協賛いただき取り組んでいるところが素晴らしいです。

それと、それぞれ事業をバージョンアップしているところが、地域の方の評価につながっているのではと思いますし、楽しい事業になりつつあるので、多くの方々が参加し始めた原因かなと思います。

新しい事業を始められてもいいと思いますし、今ある事業をさらに地域の方々が注目するような、参加したいと思われるような、魅力的な事業に少しずつ変えていかれることはいいことだと思います。

是非引き続き、令和5年度も工夫しながら継続していただけるといいかなと思います。

明日の稲津を築くまちづくり推進協議会（以下「稲津」）

○委員　まちづくり推進事業

地域の中にたくさんの野菜を施設等に配布した。と書いてありますが、稲津地域の中にはたくさんの施設がありますが、どのようなところに配布したのか伺いたいです。

●稲津

収穫した野菜ですが、稲津にはみずなみ瀬戸の里があります、それともう1箇所ひざし、あと1箇所あずまというところがあります。そういう社会福祉の関係施設へ配らせていただきました。

○委員　環境保全事業　社会福祉推進事業　青少年健全育成事業

環境保全事業ですが、屏風山とか小里城とかＴＶとかにも紹介された湿地のところとかも見させていただきました。たくさんの方が登山されたり、利用されているなということで、整備の方をこれからも強調していかなければいけないかな、と思います。予算的にもあまり使っていないような気がするので、またそこをちょっと経費を使って安全にしていただければと思います。

あと、社会福祉推進事業のところですが、先ほど163名の方がふれあい広場に参加されたとありました。成果目標が、当初は350名とされていましたが、少なかった理由としてコロナ禍だったということか、思いのほか少なかったということかどのような理由か聞かせていただきたいです。でも、163名というのはすごいことだと思います。

あと、長寿会社会福祉協議会民生委員さんが関わっての事業ということで、なかなかこれだけの方たちが関わって連携がとれるということはないと思うので、素晴らしいなと思いました。他の地域でも参考になると思います。

あと一つだけ、すみません。青少年健全育成事業のところですが、青少年の実態を把握しました。とありました。巡回することで、何を把握されたのかその内容をお聞きしたいです。

●稲津

はい、ありがとうございました。

まず一つ目の保全活動でございますが、黒の田湿地を守る会というボランティアですね。そこがそれぞれ事業が始まる前に草刈りをしたりとか、登山道の整備をしてくれている状況です。有志 16 名ほどでボランティアでやってもらっています。こちらからは燃料代を出すくらいです。

小里城の件については小里城けんしょう会というものがありまして、こちらもボランティアでして登道の整備、下には広場がありまして、将来を見据えて紅葉を植えたりですとかボランティアでしてもらっている状況です。

2 番目の社会福祉協議会でのことですが、私は社協の支部長でございますが、ちょっと意思の疎通を欠きまして人数は誤りでした。先ほどご指摘いただきました当初の 350 名というのは、コロナの前は小学生・幼児園に声をかけまして、夏休みに家族連れで人数が多かったと思いますが、実質コロナ以降は幼児園を対象ということで現在の稲津幼児園の園児 90 名と役員で、350 名は昔の数字でしたので失礼しました。

青少年育成は青パトがやっておりますが、たまり場と思われる小学校のグラウンドとか、いろんな橋の下とか、そういうところを回っており、おかげで今のところ変なことが起きているということはないので、そういったところを回らせていただているという状況です。

＜市長コメント＞

本当にご苦労さまでした。コロナ禍でしたがいろいろ工夫されながら実施されたのかなと思います。稲津は毎回感じるのですが、やっぱりまちづくりだけではなく、市内のさまざまな団体をうまく巻き込んでそれぞれの事業をやってみえるというところが、良いところだと思います。また、よその地区も参考にさせてもらうといいと思います。特に稲津の場合はスポーツ文化倶楽部というところがありますので、そちらの方は、本当に活発にまた別の予算でやってみえますのが、そことの連携がしっかりとれていると思います。まちづくりの役員さんだけではなく、稲津町をあげて取り組んでみえるというところが私はすごくいいんじゃないかと思います。ネットワーク作りとか情報を共有する方法というのは難しいところがあるかもしれませんけど、その辺のところを徹底していただいているところが良いと思います。特に稲津は文化、スポーツ、映画なんかありまして私も楽しみに行かせていただきますが、大変多くの方が出席していただいて、楽しんでみえるというのは大変素晴らしいと思います。

これからももっともっといろいろ工夫をされまして、町民をあげて取り組んでいただけると有難いかなと思います。本当にご苦労さまでした。

大湫町コミュニティ推進協議会（以下「大湫」）

〇委員　大湫町子育て支援事業

住民率先の事業がたくさんあり、それをなされているのが素晴らしいなと感じました。発案されてい

る方たちが「てくて」のメンバーの方が多いのかなと思いますが、前のお話を聞いた時は若い方たちの参加が少ないということでしたが、会長さん自らＢＢＱなどで自腹を切って集めたりということを聞いたことがあるのですが、そうだとすれば実を結んできたんだなと感じました。

あと野点のイベントですが、子どもが野点に挑戦するという、大人でもなかなか挑戦することがないので、企画が渋いですが、いいことだなと思いました。少々泡立て悪くて苦くても子どもの点ててくれたものを飲むというのは微笑ましいなと感じました。どんどんたくさんの若い方たちが率先していけるといいと思いました。

●大湫

今回の事業は、「てくて」メンバーだけではなくて、「てくて」以外のメンバー、住民の方にも企画していただきました。野点は事業の中でも一番思い入れが強く、移住してきて二年目のお母さんが抹茶が好きということで、是非抹茶の企画をやりたいということでした。和菓子を地元の小学生にデザインをしてもらって、出したということで、その子供のお菓子を食べたくて、来られた方もみえました。

○委員　大湫町子育て支援事業

先日ＮＨＫの「いい移住」という番組で釜戸をやっていたのですが、.....

「今後も住み続けたい」が 100%というところが素晴らしいなと思いました。

私達からすると大湫って何もないところだなと思いますが、このビデオを見ると行ってみたいな、住んでみたいなと感じますので、今後も続けていってほしいなと思いました。

あと一つ、　　の今後がどうなったのかなと思いました。

●大湫

　　はなかなか悪戦苦闘しておりまして、　　今年度中にできたらなと思っております。体験するまでは終わっておりまして、あとは　　という状況です。ありがとうございます。

○委員　大湫町子育て支援事業

地域住民からのご提案とありますが、選び方であるとか、やれることは全部やるのかお聞かせ下さい。

●大湫

提案されたものは全て行っております。最初は審査型にしていましたが、結局、難しいのは予算でして、予算を削減すればできたりするので、予算の許す限りできる限りすべての事業をやっていこうというのがコンセプトです。

＜市長コメント＞

大変ご苦労様でした。大湫の特徴は地域住民が少ないということがあるんでしょうけど、毎年毎年予算も少ないですので、あれもこれもやるわけにはいかない地域性もありますので、本当に一つの事業に絞り込まれて毎年違う事業を企画してやってみえるというところは大湫らしいと思います。あるときはハード事業をやられたり、あるときはこういうソフト事業をやられたり、そういう意味では毎年毎年新

鮮ですし、大湫の皆さんも期待してみえると思います。これは小さい町で予算が少ないというところを逆手にとって一点集中でやってみえるというところは地域のみなさんも参考にされるといいと思いますし、若い人たちを大事に育成してみえるというか逆に若い方たちが自分たちの町を何とかしようと動いてみえるところが大湫の素晴らしさと思います。そいうところを会長さん始め、役員さんたちが上手に引っ張りだしてくれる、あと町内だけではなく、町外の人材もうまく取り入れられてこういうイベントに参加されていているところがいいなと思います。是非今年も期待しておりますので、頑張って下さい。よろしくお願いします。

日吉町まちづくり推進協議会（以下「日吉」）

〇委員　特産品開発事業

日吉に天狗の台所というところがありまして、私もよく日吉に行きますが、シャッターが閉まっていることが多く、残念だなと思っていましたが、しいたけ作りをすごく活発にやってみえて素晴らしく思いました。それで、個人的にも体験できると聞きましたけれど、そのように開放しているのであれば今度移転されるような計画もあるようですので、他地区からの方も体験できるようなイベントにしていただけるといいなと思いました。日吉で開催される公民館の事業なんかにも他地区から結構足を運んでいる人がいると聞きますので、そんなことも計画していただけると面白いなと感じました。

●日吉

ありがとうございます。先ほどもありましたように、来年度移転する計画がありまして、その移転先では食品加工ができるような施設にしたいと思っております。今まで以上に広い用途で使えるかなと思っておりますので、広くＰＲしていきたいと思っております。

〇委員　青少年育成支援事業　まちづくり情報発信事業

青色回転パトロール及び、バス待ち児童の見守りをお聞きしましたが、バス待ち児童さんの見守りがとてもいいなと思いました。私が住んでいる学園台も消防署のところとかシャトルバスのバス待ちをしているのですが、地域の方たちに見守りをしていただけるとすごくいいことだなと感じました。

あとまちづくり情報発信事業の空き家対策委員会を設立されて活動してらっしゃると思いますが、令和５年、今年度はいい移住委員会さんも立ち上げてと前回お聞きしました。この連携というのは今現状、うまく進んでいるのかなというところをお聞かせ下さい。

あともう一つ青少年育成事業の中で町内一斉空き缶拾いに 600 人集まって参加されたということで、これは町内回覧だけで集まったのか、どういった工夫をされてこれだけの方が集まったのか聞かせていただきたいと思います。あと予算をみましたら、お茶もでていないような収支になっていますが、子どもさんたちが参加されたなら何かジュース一本でもあげたら喜ぶかなと、思いました。その辺りをお聞かせ下さい。

●日吉

まずはバス待ち児童の件ですが、日吉町は面積が広いこともありバスがいろんなところに行きますが、

これは一台のバスを見守るということではなく、三方向へ行くバスを見守るということで時差もあり 10 分おき位に 3 台が北部、南部地域その 3 台についてそれぞれの見守っているという状況です。

それから空き家対策委員会につきましては、2 年前に発足しまして、今年 3 年目です。いい移住委員会は今年発足しました。昨日ですが空き家対策委員会といい移住委員会は合同で会議をいたしまして、内容は空き家対策委員といい移住委員会のやっている活動は重複するところがありまして、ある程度すみ分けをするとか、それぞれどんな活動をしていきたいとか、方針を昨日決めました。それぞれの役割というか持ち場があるということでフットワークのいい、いい移住委員会にお願いするということもあると思います。

それから空き缶拾いについてですが、これは何十年も続いている事業で、各区単位で行っており、人数的にはこのような大きな数字になっております。

先ほどの子どもさんへのジュースとかお茶についても、各区で対応していると思います。

〇委員長　特産品開発事業

特産品開発事業の内容は従来から変わっていないと思うのですが、しいたけ以外にも開発の予定とかあれば教えて下さい。

●日吉

今現在の加工所で出来る範囲のことをやっている状況ですが、今出来ることとしてしいたけを乾燥していますので、それを粉末にする、野菜を乾燥して粉末にする、それくらいしか今の現状ではできないかなと、新たにできる加工所ではもっと進んだものに移行するかと思います。

〇委員長

ありがとうございました。なるべくいろんな特産品を開発されるといいなと思いましたので、質問させていただきました。

＜市長コメント＞

ご苦労さまでした。いろいろ日吉町は継続的な事業が中心で取り組んでいただいていているところですが、日吉町の特徴をよく活かされて、天狗塚を中心とした天神窯ですね、そこを中心としたイベントは日吉町が主体ですが、市内・市外からもたくさんの方が参加されて、一つの大きなイベントとなって事業になってみえると思います。ピザも売り切れになったり、ブースも売り切れというような状況で定着してきてるのかなと思いますし、特産品の開発事業の売り上げが 50 万ほど、今年も昨年もあげてみえるということで、ある面では夢づくりの予算のみならず、自主事業である程度の利益を上げる中で新たな事業転換の方に財源を振り向けてみえるというところも日吉町の特徴的なところかなと思います。これからも是非、特に特産品事業に関しましては、今回場所を変えられて、新たな展開で始められるということですので、またステップアップなりうまく予算を活用していただいて、今皆さまから指摘があったように多くの方々が参加できるような場所になっていくといいのかなと思いました。本当にご苦労さまでした。

陶町明日に向って街づくり推進協議会（以下「陶」）

〇委員　交流人口拡大事業

すえっこくんのマスコット費用というのが商標登録費用 126，580 円とありますが、10 年の商標登録だと 1 年はたいしたことないかなと思いますが、そのあと、10 年後は更新していくものでしょうか？

写真を見ますとすえっこくんが他のゆるキャラたちと楽しそうにしているのが分かったのですが、どのような活動されているのかお聞かせ下さい。

●陶

商標登録ですが、すえっこくんが生まれた当時ですね、この地域に着ぐるみが少ないということでひこにゃんの彦根市に研修に行きました。その時に、ちょうどひこにゃんは商標の件で裁判をやっておりましたので、そういったところはちゃんとしておいた方がいいよという忠告をうけまして、商標登録しております。委員さんがおっしゃいましたように 10 年経ったら更新していくということです。他地区での活躍につきましてハシマの方から申し上げます。

●陶

岐阜のカラフルタウンでゆるキャラ運動会がありましたので、昨年度は参加させていただきました。

瑞浪のイベントは、バサカニですね、久しぶり参加させていただきました。もうなくなりましたが、ゆるキャラグランプリにも 2 回程出場しました。あと地元は依頼があればお出かけしますのでよろしくお願いします。

〇委員　交流人口拡大事業

私もすえっこくんの状況には少し気になる点がございました。費用の内訳ということで特許庁に払うお金と手数料を合わせた込みこみの金額ということでよろしいでしょうか？

●陶

手数料は地元の司法書士の有賀さんにお願いをして、手数料を一生懸命安くしていただいて手数料と公文料を合わせた金額です。

〇委員　交流人口拡大事業

分かりました。実費として役所に払うお金と、手続き費用をわけた方が、分かりやすいかなと思いました。あとは純粋に権利の話で、権利を持っているのはまちづくり協議会様ということで実際作品を作った方は誰ということになりますか？

●陶

このすえっこくんのデザインをされた方は神戸市のお住まいで、こういったキャラクターを作っておられる方です。これは公募をしまして地元の中学生、小学生を対象にと思っていたのですが、思わぬプ

ロの方から応募がありまして、採用させていただきました。お礼が 2 万円の図書カードで、デザインしていただいた先生もどのように使っていただいてもいいと約束いただいておりますので、好きなように使わせていただいているところです。

〇委員

ありがとうございます。せっかくいいキャラクターなので、活躍と収入が得られるといいなと思いました。

●陶

今の収入につきましては、出張した時、市外に行ったときには微々たるものですが出張料等をいただいております。グッズ等を作って売っております。出動料が 3 万円、グッズの売上が 3 万 7 千円、大体 6，7 万円、稼いでおります。

〇委員長

私から一点、何年か与左衛門窯の窯炊きをやったことがありますが、段々人口が少なくなってきたことを加味されて、それでも先ほど発表された焼成には参加された方が 430 名とたくさんの方に参加していただきました。外国の方はこういったことに興味を示されるんじゃないかと思いますので、今すぐにとは言いませんが、将来的には外国の方にも参加していただくよう、ＳＮＳを通して集めてみるというのも一つ手じゃないかと思います。

＜市長コメント＞

本当にご苦労さまでした。先ほど辻本議員からもありましたがとても分かりやすい資料を用意していただき、説明をしていただきましたのでよく分かりました。陶はもともと福祉を防災を中心にまちづくりをやってきてみえて、防災に関しては防災訓練とか防災教室とかいろいろやってみえますので毎年思考を変えてやってきているというところは評価させていただいております。交流人口に関しましては与左衛門窯、狛犬、茶壷を中心にコロナ禍で寄っていただくことが少なかったと思いますがうまく活用していただいていると思いますので再構築していただくと陶も場所的には交通の拠点に施設があると思いますので、委員長がおっしゃったように外国の方にも来ていただけるといいし、もし事業になれば工夫をされていくといいと思いました。

それと発表にはありませんでしたが、陶の若い方たちが町を引き継いで動き出そうという動きもございますので、是非会長を中心に連携をとっていただいて次の世代に引き継いでいけるような活性化になるように期待しています。

明世地区まちづくり推進協議会（以下「明世」）

〇委員　広報活動事業　スポーツ推進事業

広報は地区で特徴がありますが、とても見やすく、写真が多くて作られた方はとても尽力していると思いましたが、まちづくりの会合等で、評価はなさっているのでしょうか。「明世地区のデータあれこれ」「シリーズ人」などとても興味が湧きました。

ストレッチ動画のＣＤを貸し出しと書いてありますが、実際の貸し出し状況を教えて下さい。

●明世

ＣＤの方は貸し出しというか、ストレッチの動画に文字を入れてＣＤにした物を欲しい方に差し上げています。今はノルディックとかストレッチに参加している方のみになっているので、町民の方にも広く周知して配れるといいとは思っております。

＜市長コメント＞

明世地区はホタルの青少年育成事業が明世らしい特色のある事業かなと思います。ホタルを使って、子どもたちに自然環境の大切さを体験させているところが素晴らしいなと、たまたま長けた人材がみえたことも大きな一つの財産だったんじゃないかと思います。明世小学校のみならず、他の地区の学校へも出張授業をやっていただいていることもありがたいなとも思います。明世のみならず、例えば日吉町のベルフラワーカントリーに出向いて育成したりとか、瑞浪地区の万尺川のホタルも成功し始めて、その指導もしていただいているということも大変ありがたいと思います。これからはまちづくりの中で地区に関わらずいいことは連携して、真似していくこともいいと思います。ステップアップを上手に活用していただいて、みんなが安全にホタルの鑑賞をしていただけたことも良かったと思います。是非市外、県外にも広めていっていただけるといいと思います。ご苦労まさでした。

釜戸地区まちづくり推進協議会（以下「釜戸」）

〇委員

写真を見させていただきました。以前からずっとお話は聞かせていただいておりましたので、実施できてよかったと思います。学生さんが関わってくれたというところも良かったなと、学生さんにとっても心に残るお仕事だったと思います。釜戸さんはいい移住でクラフトビールが話題になっていると感じてこれからすごく楽しみです。ちなみに「道の駅」というのを噂で聞きましたが、まちづくりとして応援というか支援をすることを考えていらっしゃいますか？土岐町の方は「きなぁたの周年祭」にお手伝いみたいなことをしてもらったことがありました。そういったところでまちづくりの方が関わるのかなと思いました。お聞かせ下さい。

●釜戸

ありがとうございます。令和 9 年にバイパスができるときに瑞浪市さんにご尽力いただいた結果として、「道の駅」を建設する予定で進めております。昨年度ワークショップ等でやらしていただいて町民の意見を集約しながら瑞浪市さんにお届けしているところでございます。どのような形でいくというのは最終的にまだ決定しているわけではございませんので、今後そういったことを踏まえて、「道の駅」を核としながら釜戸町の課題改修と魅力を伸ばしていくという取り組みにしていきたいと思っております。と同時に今年ステップアップをいただきましたが、釜戸の観光名所としてのふれあい館を一つのメインにしたいと思っておりますし、化石が出ましたのでこれも一つ釜戸の魅力をＰＲしながら、多くの方に移住をしていただいて、釜戸町に住んでいただけるようなまちづくりにしていきたいと思います。空き

家対策のワーキンググループが活動してくれていまして、昨年度 13 人の方が釜戸町に移住してくれました。4 月から小学校でいうと 3 人の子が転入してきてくれました。そういう形でどんどんまちづくりを取り組んでいきたいと思います。以上です。

〇委員　青少年健全育成事業

プロの和太鼓集団からご指導いただいたということで、小学生にとっても貴重な経験だったかと思います。そういったワークショップや講習の場を通して和太鼓に地元の小学生が参加する数が増えたという実績はどうでしょうか？

●釜戸

小学校３年生が和太鼓の授業が15時間ほどあります。青龍の指導者が太鼓を持って出向いてくれます。そこで体験するということも継続的にやっております。その子達が、3 年 4 年とやってきて太鼓の憧れや良さを感じてくれていますので、今年も実際 6 月に行いましたが、最後に演奏をみんなでやった時には素晴らしい演奏ができたということでみんなの喜びになっております。子供たちにとっての健全育成、自信になったりとか一体感や絆だとかそういうところが出来ているかなと思います。

なかなか予算が大変な事業でございますので、その辺りは今後検討していかなければならないと思っておりますが、子供たちにとっては非常に好評だったと感じております。

＜市長コメント＞

それぞれの事業をしっかり実施していただいて、ただ夏祭りがあるだけと、報告を聞きましたが今年は是非計画通りに開催していただけるといいなと思いました。期待しておりますので、よろしくお願いします。今会長からもお話がでたように釜戸町はさまざまな新しい魅力があちらこちらで出始めております。竜吟峡の整備もそうですし、化石もですし、釜戸ビアワークスもそうですし、将来的には道の駅という事業もありますので、是非釜戸町全体で取り組んでいただいておりますけれど、そこにまちづくりの皆さんも核となってリーダー的な役割も果たしていただきながら活躍していただけるとありがたいと思います。やっぱりまちづくりでイベントをやっているだけでは寂しいと思いますので、本来の意味の釜戸の課題解消、活性化はまちづくりの大きなテーマですので、積極的に関わっていただけないかなという思いもあります。これからも活躍を期待しておりますので、よろしくお願いします。

土岐地区まちづくり推進協議会（以下「土岐」）

〇委員

コロナ禍でいろんな行事が中止となったのは本当に残念でした。土岐地区はふれあい夏祭りや防災とか計画されていたと思いますが、やはりまちづくりでは子供と大人が一緒に楽しめる事業を企画するというところが大切だと思いまので、今後そのような企画をしていただけるとありがたいなと思います。

●土岐

夢づくり対象事業ではないのでこの活動には載っておりませんが、土岐地区は小学校のコミュニティ

スクールが昨年度から始まりました。運動会の前のグラウンドの草取り事業を大きく呼びかけているわけではないですが、区長会なり、まちづくりの役員を通して、毎回 20~30 人集まってくれて 5，6 回続けることができました。今年もまた広げていけるといいねと学校の方と話しをしているところです。

青少年育成事業の方でコミュニティスクールの予算を考えております。夏祭りは今すぐには無理かと思います。特にコロナの前には問題として熱中症がありました。狭い体育館に 1,000 人も集まりますと大変なことになりますので、他の地区との違いが出てくるかと思いますが、今後の課題になるかと思います。少なくとも少しずつですが子供と地域の大人との触れ合える事業が進みつつあるということを報告させていただきます。

〇委員

私は土岐地区に住んでおりますので、興味を持って聞いていたのですが、昔より土岐地区は集まる機会がなくなっていると思います。コロナ禍という理由だけではないような気がします。なので小規模でもいいので、史跡に関しては調査したりとかカルタを作ったりとかいうのがありましたので、小規模でもいいので史跡巡りとか何か地域の方も関心を持ってやれることを考えていただきたいなと思います。カルタに関しては全戸配布をしていただいたと思いますが、今現状はどうなっているのかお聞かせ下さい。

●土岐

新一年生に関してはお配りしております。全ての子供会ではありませんが、一部子供会でやってくださっていると聞いております。

史跡関係の子どもたちに郷土愛を深めるとか歴史を深める、触れてもらうということに関しては学校の授業で３年生が桜堂薬師に行ったり、鶴ヶ城へ登ったり、それに対してコミュニティスクールの方で地域の人たちが応援する形でもう少し広めていけないかと、桜堂薬師の保存会の会長さんからもまちづくりも協力していただきたいと聞いておりますので、少しずつ広まっていくだろうと考えております。

あと、子供との関係で言いますと、社会福祉協議会の土岐支部が、今年は子供とお年寄りのふれ合い広場をなんとか開催したいと、冬場でインフルエンザも流行る時期ですので、どうなるかというところですが、その時にはまちづくりも協力していく形になるだろうと思います。

〇委員　防災力強化事業

防災関係の令和４年度学ぼうさいが開催できなかったということです。その時に作られた資料と記念品のお話があったので、私も質問しようと思っておりましたので、納得致しました。それを今回令和 5 年にも 15 万円計上されて防災関係をやられるということですが、それプラスなにか物を買ったりとかする 15 万円の予算でしょうか？

●土岐

昨年準備したものを使用する予定ですが、準備が不足する可能性もあるため予算をとっております。新しい物を追加で購入するというものです。

＜市長コメント＞

ご苦労さまでした。いろいろ出来なかった事業があり残念ですが、やっぱり今は委員さんからご指摘があったように夢づくりですので、ワクワクするような事業が足らないなと思います。前の土岐のまちづくりというのはもっといろいろあったような気がします。依頼があったら協力するとか説明がありましたが、そうではなくもっとまちづくりが主体的に企画をしていただく事業も必要だと思いますし、そこに各地域の色々な団体を巻き込んでいくところが弱いのではないかと聞いていました。他の地域はいろいろな団体を巻き込んで、もっと言えば民間企業なんかを巻き込んでまちづくりが中心となってその地域の活性化を図っているわけです。土岐町は大きな予算を使える地域ですのでその辺のところを是非みんなでもう一回考えていただかないとちょっと正直言って夢がないなとワクワク感がないなと思いました。是非厳しい意見かもしれませんがその辺のところをみなさんで考えていただきたいなと思います。

【５　事務連絡】

≪事務局より事務連絡など≫

【６　閉会】

≪まちづくり推進部長より閉会のことば≫　　以上